

犬と猫、どっちが好き？

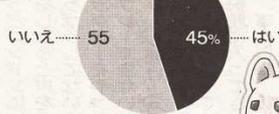
猫
33

犬
67%

「犬」の人が答えました
その理由は？ (四つまで選択、10位まで)

従順	697人
人なつこい	678
忠実	649
頭がいい	597
かわいい	569
意思が通じあう	436
人の役に立つ	346
一緒に外で遊べる	282
喜怒哀楽がわかる	241
りりしい	99

「犬」の人が答えました
猫は嫌い？



「はい」の人が答えました
その理由は？ (三つまで選択、8位まで)

自分勝手	368人
爪でひっかく	233
なつかない	188
意思が通じあわない	162
人の役に立たない	106
思知らず	90
猫アレルギー	69
芸を覚えない	18

「猫」の人が答えました
その理由は？ (四つまで選択、10位まで)

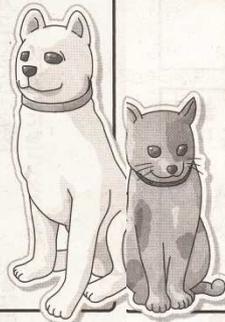
かわいい	507人
自由気まま	424
人にこびない	308
散歩しなくていい	263
抱き心地がいい	237
飼うのが楽	200
ほえない	159
謎めいている	89
あまり臭わない	78
りりしい	29

「猫」の人が答えました
犬は嫌い？



「はい」の人が答えました
その理由は？ (三つまで選択、8位まで)

ほえる	141人
かみつく	108
路上で糞尿をする	63
飼うのに手間がかかる	49
臭う	43
しつけが必要	31
人にこびる	24
べたべたし過ぎる	17



【回答者数：2281人】グラフィック：岡山 進矢

忠誠心VS.ツンデレ

「犬」はいつも庭の片隅で鎖につながれていた。チコは、東京の女性(52)が3歳のときから鹿児島の実家で飼っていたシバイヌだ。「臆病だった私を、せめて大にはおじけひかないようにしよう」と父が愚案し、子犬を買い求めたようです。「電話で父から、お前の成長を見届けて、いなくなつたのだと言われて泣き崩れました。チコのひたむきな真心に、こたえてあげられなかつたことを悔やみました」

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

家族が掃宅する気配を感じると、スリッパをくわえて

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

長を見届けて、いなくなつたのだと言われて泣き崩れました。チコのひたむきな真心に、こたえてあげられなかつたことを悔やみました」

犬は、親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

家族が掃宅する気配を感じると、スリッパをくわえて

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

う感で傳うにしている「(愛知、52歳男性)、「犬と猫を両方、飼っている。犬は吐られると、哀れなほどしょげてしまうが、猫は倍返しで逆干しするので、怒らせないよう、こづらが気を使っている」(愛知、45歳女性)。

東京の女性(44)が10年前まで飼っていた雌のスコティッシュフォールドは気位が高く、みずから人にすり寄ることなどない猫だった。「ところが、一度だけ私のひざの上に飛び乗ってきたことがありました。そのとき私は悲痛な出来事があった、メソメソ泣いていたんです。猫は、悲しみを分かち合おうとするように私の目を見つめたまま、まったく逃げようとはしませんでした」

生まれ立てのときから福島(50)に飼われている6歳の雑種の猫も、抱かれるのを嫌がり、人にこびるようなそぶりは見せないそうだ。「でも、寝ているとき、甘えたように鳴くので、指を差し出すと、前脚で抱きかかえてチュウチュウ吸います。母親が恋しいかと思うと、ふひんでならない」と飼いの男性は、いとおしげに語る。

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。

「犬」の親密な人との関係で、愛情の「等価交換」に執着してはいないらしい。愛情を降り注がれば飽くことなつき従い、過剰なほど上乗せして返そうとする。その際限のない応酬にうつつしうしを感じない人は、正統な犬派を名乗る資格がある。「去年、13歳で天に召された犬は、家族の関係を円滑にする、かけがえのない存在でした」と神奈川の男性(74)は思い起す。